



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 24

発行 令和2年9月25日
発行責任者 校長 菅野 靖



秋の全国交通安全実運動施中

9月21日(月)から30日(水)までの10日間、秋の全国交通安全運動が実施されています。登下校時の交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践をし、交通事故防止の徹底を図ることを目的として全国で運動が展開されています。五箇地区でも、小学校前の信号機付きの横断歩道では、毎朝、五箇地区の見守り隊員の方と小学校の校長先生が交通指導を行ってくださっています。ありがとうございます。「秋の日はつるべ落とし」と言われるように、秋は日が暮れるのが早く、部活動が終了した後は、薄暗い中での下校になり、重大交通事故につながる恐れがあります。自転車通学生は、車からの視認性を高めるためにも**早めの点灯を心がけましょう**。また、部活動後の下校では、方部ごとにまとまって下校するよう指導しておりますので、地域やご家庭でもお声掛けいただきますようよろしくお願いいたします。自転車通学での「特に注意してほしいこと」を掲載します。

- 横断歩道では必ず一時停止し、左右を確認して押して横断する。
- 複数人で走行するときは並進せず、一列で車道左側を走行する。(話しながら走行しない)
- 見通しが悪い交差点では必ず一時停止し、左右を確認し注意して走行する。
- ヘルメットの着用、反射材の装着など安全運転を心がける。



スクール・サポート・スタッフの方が五箇中学校のスタッフに仲間入り

9月16日(水)から五箇中学校にスクール・サポート・スタッフの小野寺次男さんが勤務されました。スクール・サポート・スタッフとは、福島県教育委員会から新型コロナウイルス感染防止対策のための職員として任命され、校舎内の消毒作業や校舎の換気、特別教室の清掃などの校舎環境の衛生管理を行います。また、教員の教材作成の補助や配布物の印刷など、教職員の校務の負担を軽減するためにご尽力いただきます。今年度末の3月までの任用で、慣れない仕事も多いですが、お世話になります。

- 氏名 小野寺 次男(おのでら つぎお)
- お住まい 田島
- 趣味 ゴルフ スキー ランニング
- 抱負 スクール・サポート・スタッフとして業務を全うし、校舎の衛生管理を整えること。
- 生徒の皆さんにお願いしたいこと 見かけたら気兼ねなく声をかけてください。



【小野寺 次男 さん】

新型コロナ禍の中の子どものストレスと対応

先日、配布しました「道徳のとびら」の中に、新型コロナウイルスに負けないストレスの対処法についての内容が記載されていました。「家は子どもにとっての居場所であり、安全基地である」という【福島大学人間発達文化研究科 安部 郁子 様】のことが目に留まりましたので、再掲させていただきます。

「最近、子どもの様子がおかしい」と感じることはありませんか。これは、ストレスによるものかもしれません。新型コロナをめぐるストレスは、行動の制限や、新型コロナへの不安、恐れ、心配からきていることが多いです。子どものサインに気づき、不安や恐れを受け止め、一緒に対処法を考えてください。お家は子どもにとっての居場所であり、安全基地なのですから。対処法でお勧めなのは、**教育庁のHPに掲載してある「心のケア」**の中の「リラクゼーション(呼吸法)」です。是非、お子さんと一緒にやってみてください。新型コロナに対する不安や恐れは、「デマ」や「偏見」「差別」を生み出し、SNSなどで拡散されることがあります。社会心理学的に考えると、ある人を攻撃することで、自分が抱える不安や恐怖を軽くしようとする無意識の行動です。こうした行動は、人を激しく傷つけます。子どもと、なぜ人を「差別」してはいけないのかを話し合ってください。また、医療従事者や新型コロナと闘っている人たちへの感謝を話し合ってください。子どもたちの抱えきれない不安や恐れからの「SOS」に気づいて、しっかりと受け止めてほしいと思います。



福島県教育庁 掲載動画「新型コロナに負けない！ストレス対処法」のアドレス

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/manabinohosyou.html#suto>